

コロナ禍の影響に関するアンケート調査 集計結果

対 象 市内在住の 18 歳以上の方から 2,500 人(無作為抽出)

期 間 令和 2 年 10 月 16 日(金)～10 月 30 日(金)

方 法 中期事業実施計画の中間年に実施する「市民意識調査」に同封して郵送

回収率 60%

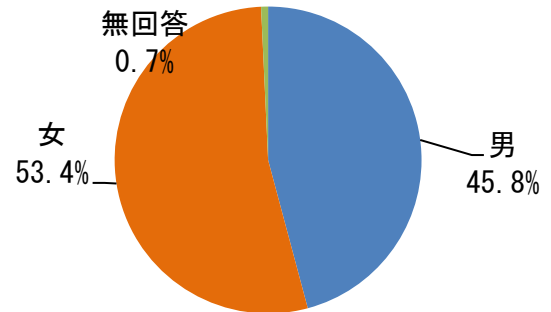
実 施 中津川市政策推進部政策推進課

1. 回答者の属性

○性別

区分	件数	%
男性	688	45.8
女性	802	53.4
無回答	11	0.7
全体	1,501	100.0

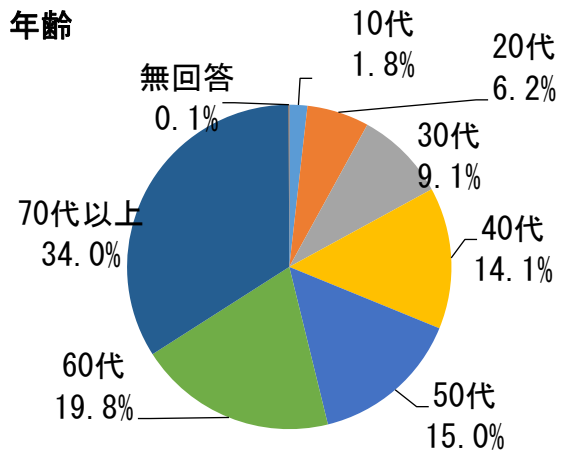
性別



○年齢

区分	件数	%
10 代	27	1.8
20 代	93	6.2
30 代	136	9.1
40 代	212	14.1
50 代	225	15.0
60 代	297	19.8
70 代以上	510	34.0
無回答	1	0.1
全体	1,501	100.0

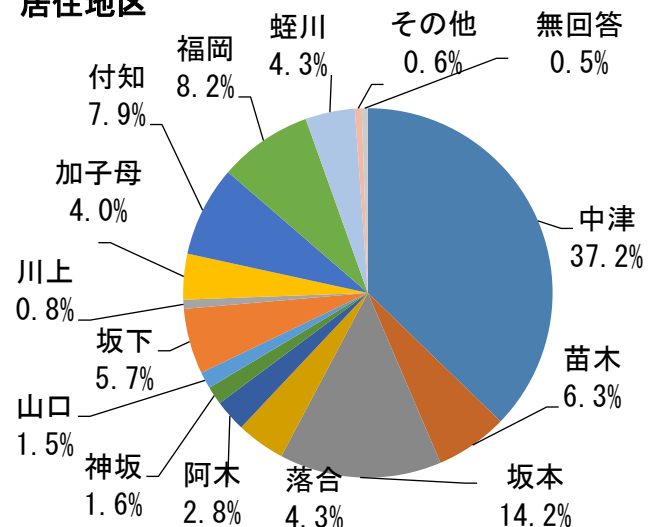
年齢



○居住地区

区分	件数	%	区分	件数	%
中津	559	37.2	坂下	86	5.7
苗木	95	6.3	川上	12	0.8
坂本	213	14.2	加子母	60	4.0
落合	64	4.3	付知	119	7.9
阿木	42	2.8	福岡	123	8.2
神坂	24	1.6	蛭川	65	4.3
山口	22	1.5	その他	9	0.6
			無回答	8	0.5
			全体	1,501	100.0

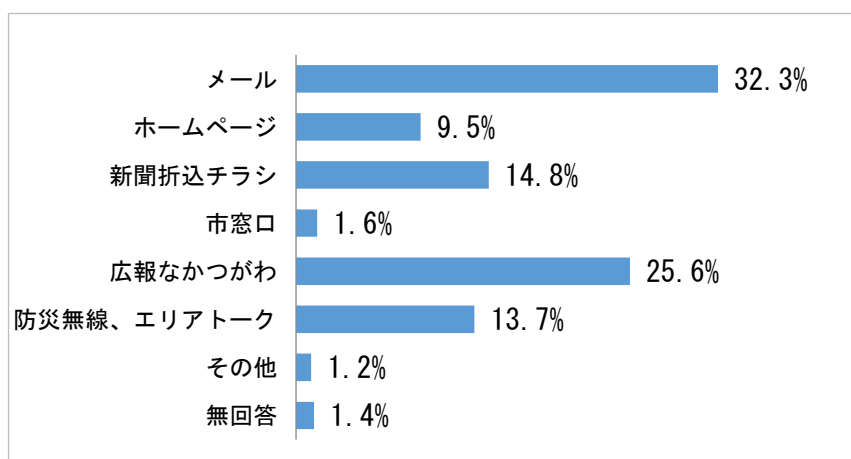
居住地区



問 1. 市の情報発信や支援策について

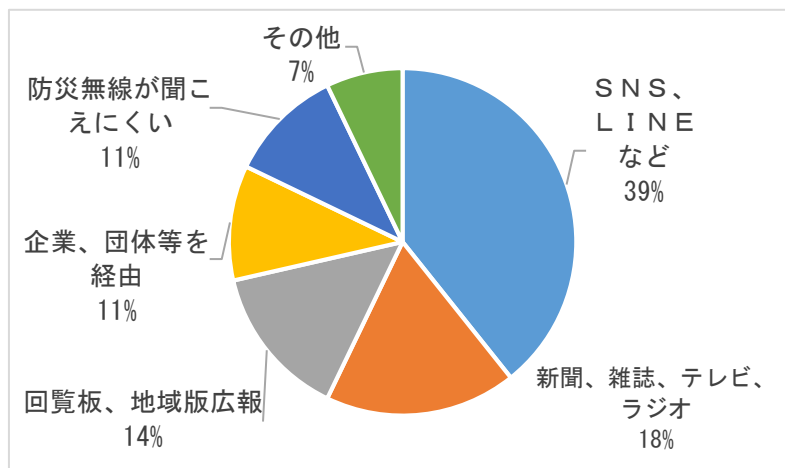
(1) 市からの情報発信について、有効と思うもの(複数回答可)

区分	件数	%
メール	891	32.3
ホームページ	263	9.5
新聞折込チラシ	407	14.8
市窓口	45	1.6
広報なかつがわ	705	25.6
防災無線、エリアトーク	377	13.7
その他	32	1.2
無回答	38	1.4
計	2,758	100.0



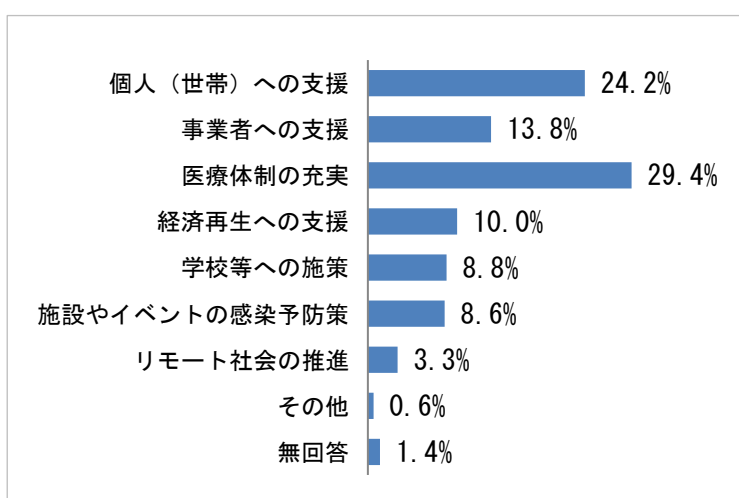
○「その他」の具体的な内容

SNS、LINEなどが最も多い。



(2) 優先度が高いと思われる各種施策(3つまで回答可)

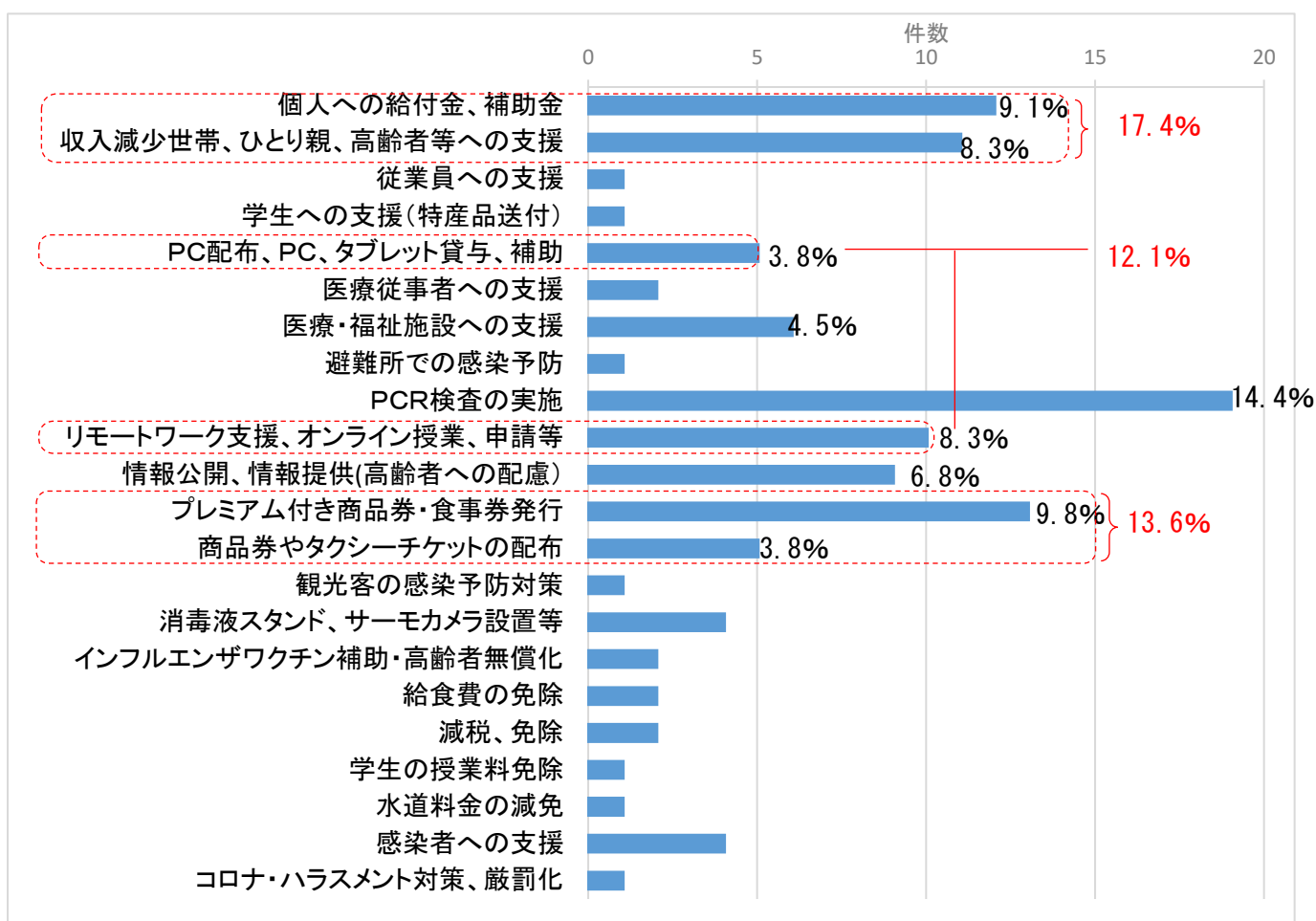
区分	件数	%
個人(世帯)への支援	926	24.2
事業者への支援	526	13.8
医療体制の充実	1125	29.4
経済再生への支援	381	10.0
学校等への施策	335	8.8
施設やイベントの感染予防策	327	8.6
リモート社会の推進	127	3.3
その他	24	0.6
無回答	52	1.4
計	3,823	100.0



○問1(2)の具体的な施策の提案

区分	件数	%
個人(世帯)への支援	34	25.8
事業者への支援	5	3.8
医療体制の充実	28	21.2
経済再生への支援	11	8.3
学校等への施策	16	12.1
施設やイベントの感染予防策	5	3.8
リモート社会の推進	7	5.3
その他	26	19.7
計	132	100.0

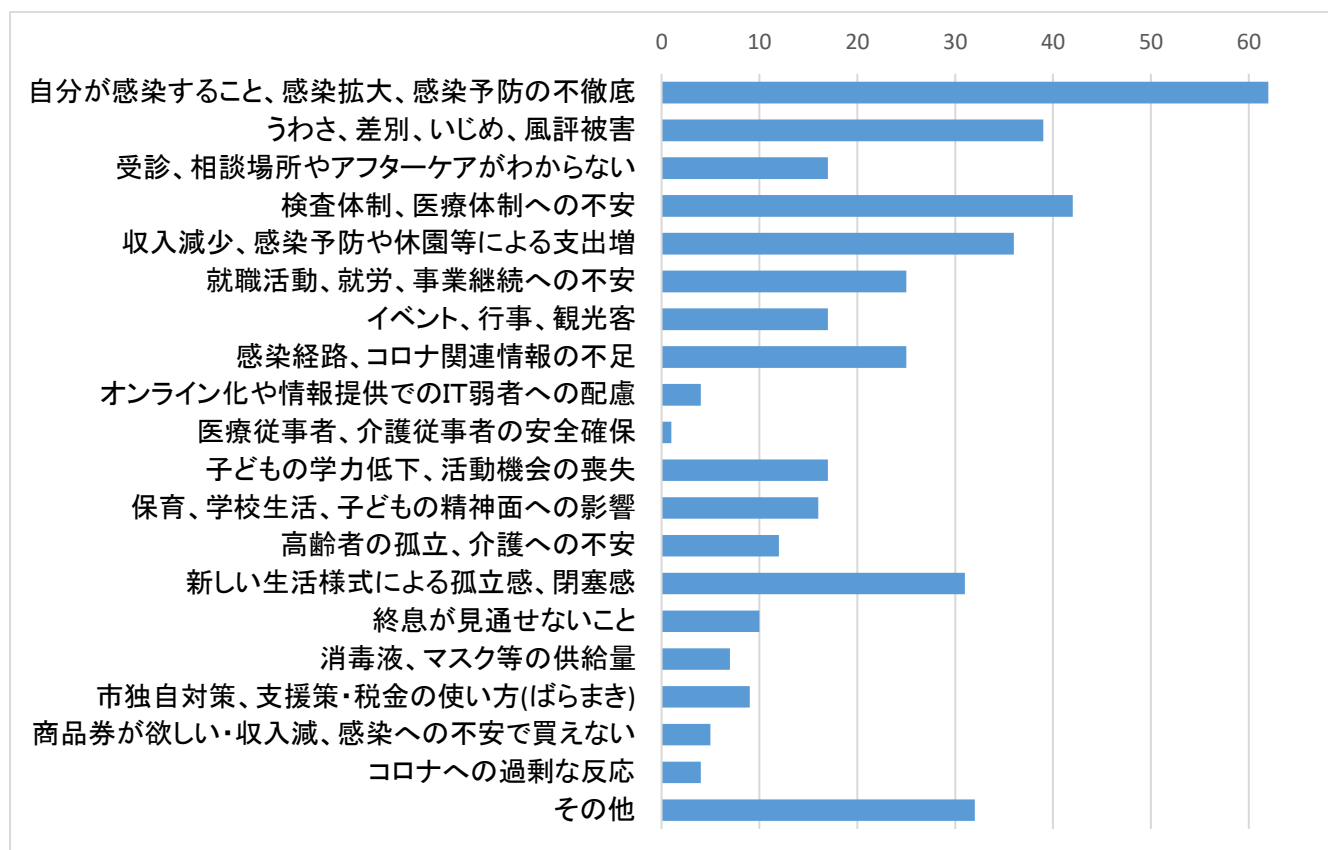
・具体的な内容



問2 コロナ禍を受け、お困りのことや、ご心配なこと

○集計

内容	件数	%	
自分が感染すること、感染拡大、感染予防の不徹底	62	15.1%	感染やうわさ、差別 24.6%
うわさ、差別、いじめ、風評被害	39	9.5%	
受診、相談場所やアフターケアがわからない	17	4.1%	受診や検査、医療体制 14.3%
検査体制、医療体制への不安	42	10.2%	
収入減少、感染予防や休園等による支出増	36	8.8%	収入減少、就労、事業継続 14.9%
就職活動、就労、事業継続への不安	25	6.1%	
イベント、行事、観光客	17	4.1%	感染経路、情報提供など 7.1%
感染経路、コロナ関連情報の不足	25	6.1%	
オンライン化や情報提供でのIT弱者への配慮	4	1.0%	学力、学校生活、子育て 8.0%
医療従事者、介護従事者の安全確保	1	0.2%	
子どもの学力低下、活動機会の喪失	17	4.1%	孤立感、閉塞感など 12.9%
保育、学校生活、子どもの精神面への影響	16	3.9%	
高齢者の孤立、介護への不安	12	2.9%	
新しい生活様式による孤立感、閉塞感	31	7.5%	
終息が見通せないこと	10	2.4%	
消毒液、マスク等の供給量	7	1.7%	
市独自対策、支援策・税金の使い方(ばらまき)	9	2.2%	
商品券が欲しい・収入減、感染への不安で買えない	5	1.2%	
コロナへの過剰な反応	4	1.0%	
その他	32	7.8%	
計	411	100.0%	



問 1 新型コロナウイルスの感染拡大により、学校の臨時休校や外出自粛など、市民生活に大きな影響がありました。これまでの市の情報発信や支援策について伺います。

問

1

(1) 市からの情報発信について、有効と思うものの番号に○をつけてください。

(複数回答可)

1. メール 2. ホームページ 3. 新聞折込みチラシ 4. 市窓口等
5. 広報なかつがわ 6. 防災無線、エリアトーク 7. その他()

(2) これまで市では各種支援策を実施してきましたが、新型コロナウイルスの感染は拡大と収束の波を繰り返しながら、しばらく続くと思われます。今後優先度が高いと思われる項目番号に3つまで○をつけ、その具体的な内容があれば〔 〕内に記入してください。

(3つまで回答可)

1. 個人(世帯)への支援 (例) 臨時給付金(国)、子育て世帯応援給付金(2万円/人)、小中学校・幼稚園・保育所など給食費の免除、収入減少世帯の市税、公共料金等の減免
2. 事業者への支援 (例) 休業補償(県)、感染防止対策や営業形態の転換への助成、農林業事業者の事業継続への助成
3. 医療体制の充実 (例) PCR検査の充実、入院病床の確保
4. 経済再生への支援 (例) プレミアム付商品券の販売、観光振興のための需要喚起
5. 学校等への施策 (例) オンライン授業の実施
6. 施設やイベントの感染予防策 (例) 消毒液等の設置、避難所での感染防止対策
7. リモート社会の推進 (例) テレワーク導入支援・行政手続き、相談のオンライン化
8. その他

上で○をつけた施策の具体的な内容があればご記入ください。

〔

〕

問 2 コロナ禍を受け、お困りのことや、ご心配なことがありましたら記入してください。

問

2

ご協力ありがとうございました

別紙、**1** 市民意識調査「アンケート回答用紙 **提出用**」と一緒に、同封の返信用封筒に入れてご返送ください。